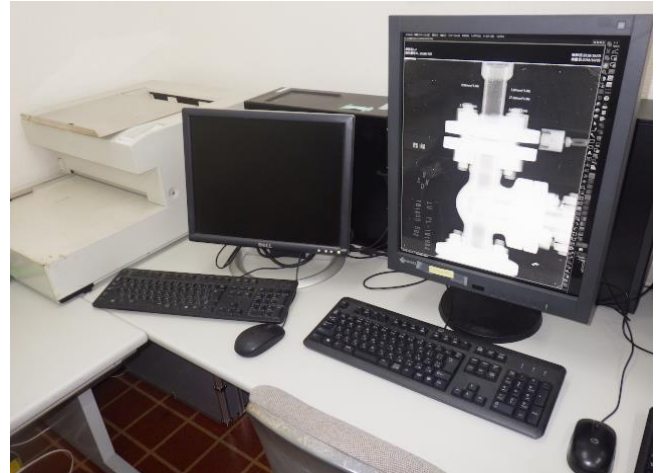


# Computed Radiography (コンピューテッド ラジオグラフィ)



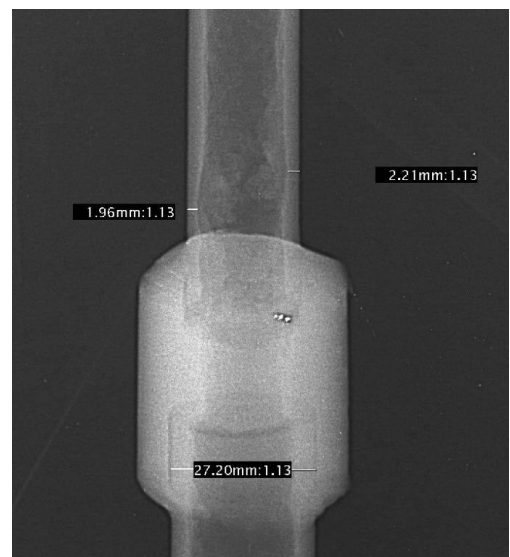
従来の工業用X線フィルムの代わりに、イメージングプレート(IP)を媒体として使用し、これに蓄積された透過線量をデジタル化し画像処理を可能とした装置です。  
また、撮影済みフィルムをスキャナで読み取り、デジタルに変換して同様の画像処理を行うことも可能です。

## 特長

- 濃度やコントラストの変更等の画像処理可能
- 露光条件の自動補正機能により、撮影条件の大幅な緩和
- 試験体の肉厚変化に対応
- 照射時間の短縮
- 画像間の加算減算による肉厚計測
- 濃度分布測定による減肉、スケール状況の推測が可能
- 画像のデジタル変換により、モニター表示、ディスク保管等が容易
- イメージングプレートは繰り返し使用が可能
- 従来の写真処理液を必要とせず、環境にやさしい

## 適用

- 配管のスケール付着と減肉状況調査
- バルブ開閉調査
- 蒸留塔のトレイの検査
- コンクリート内部調査



イメージ画像